

第11回大阪教区での春休み☆福島の子どもたちホームステイ計画

ホストファミリー募集要項

“福島の子どもたちに放射能を心配せず自由に遊んでもらいたい。”との趣旨のもと、「原発に依存しない社会の実現を目指す委員会」では、これまでに引き続き、来春にも大阪教区内の地域へ福島県の子どもたちを招待する計画を立てました。

福島県の各地では依然として放射線量が高く、一時期でも線量の低い環境での保養は、子どもたちの免疫力を高める有効な手段のひとつです。

つきましては、下記のとおり大阪教区内の寺院・教会、有縁の方々（ご門徒宅）においてホームステイ受け入れが可能なホストファミリーを募集いたします。別紙申込書に必要事項をご記入の上、大阪教務所までご連絡くださるよう、よろしくお願いいたします。

記

- 1 期 間 2017年3月27日（月）～31日（金）4泊5日
- 2 対 象 福島の子どもたちとその保護者 【定員10家族】
- 3 日 程 別紙①参照
- 4 申込方法 2017年1月27日（金）までに別紙②「ホームステイ受け入れ申込書」（事前アンケート）を大阪教務所までFAX又は送付をお願いします。
- 5 備 考
 - ① 原則、1寺院（1宅）につき、1家族の受け入れを行っていただきます。
 - ② ホストファミリーには、受け入れにかかる諸費用の補助（2万円）を支給いたします。
 - ③ 福島からの到着・集合場所および最終日の解散場所は難波別院といたします。難波別院と貴寺（貴宅）間の送迎をお願いいたします。
 - ④ 3月29日（水）には、「子どもお楽しみツアー」として、福島のご家族を大阪市内散策へお連れします。ホストファミリーからの参加の有無は自由です。ホストファミリーの参加がない場合は、福島の方がご自身で会場に行けるように公共交通機関での行き方をご案内してください。（別紙①日程表参照）
 - ⑤ 最終日3月31日（金）は、閉会式を兼ねて難波別院において参加者、受け入れ寺院（門徒）全員での昼食交流会を開催します。
 - ⑥ 福島からの参加申込締切（1月31日）後に、申込多数の場合は主催者にて書類選考を行います。その後にホームステイの組み合わせを決定いたします。組み合わせが決まりましたら、事務局（大阪教務所）から先方の家族構成、住所、連絡先等をお伝えいたしますので、事前に、直接お電話等にて十分にご連絡を取り合ってください、受け入れにあたっての具体的な相談・確認をお願いいたします。
 - ⑦ 福島側の募集要項には、「受け入れの環境は、ホストファミリーによってさまざまです。宿泊場所は必ず提供いたしますが、食事については、ホストファミリーのご事情で、毎食提供できることはお約束できません。食事も併せて、生活面や日程中の過ごし方の詳細については、事前にホストファミリーから連絡していただきますので、その際にホストファミリーと綿密なご相談をお願いいたします。なお、滞在期間中の観光等にかかる費用は、必ず参加者ご自身でご負担ください。」と明記していますので、ご無理のない受け入れのスタイルをご検討ください。

以上

第11回 大阪教区での春休み ☆ 福島の子どもたちホームステイ計画

◆全体日程

各ホームステイ先

	3月27日(月)	3月28日(火)	3月29日(水)	3月30日(木)	3月31日(金)
	● ↓ 参加者各自移動 【新幹線で移動】 ↓ 12:00 ↓ 14:30 ↓ 15:30 ↓ 17:00~ ↓	各ホームステイ先での自由行動(終日)	「子どもお楽しみツアー」 に参加 各ホームステイ先へ	各ホームステイ先での自由行動(終日)	各ホームステイ先での自由行動
11:30開会					
閉会式 兼 昼食交流会					
● ↓ 13:30頃閉会・解散					
参加者各自移動 【新幹線で移動】 ↓					

ホームステイ先宿泊

ホームステイ先宿泊

ホームステイ先宿泊

ホームステイ先宿泊

◆3月29日(水)「子どもお楽しみツアー」について

子どもお楽しみツアーは、ホームステイに参加される皆さんを大阪近郊でのびのびと遊べる場所へご招待する企画です。これまでには市内の観光地や施設見学、バーベキューなどを行ってきました。福島のご家族は原則ご参加いただきますが、ホストファミリーの参加は自由です。企画の詳細は検討中ですので、お申込みいただいた方には、詳細が決まり次第ご連絡いたします。

ホームステイ受け入れ申込書（事前アンケート）

所属寺 第 組 寺 申込者氏名 _____

1. 受け入れ可能な人数をお知らせください。 大人： _____ 人 / 子ども： _____ 人
2. 家族構成をできるだけ詳しくご記入ください。
※子どもがいる場合は、それぞれ年齢をご記入ください。
3. ペットを飼っていますか。 飼っている・(屋内・屋外)・種類 (_____) / 飼っていない
4. 送り迎えの移動手段はどのように考えていますか。
自家用車 (_____ 人乗り) / 電車・バス / その他 (_____)
5. 車での移動を考えておられる場合、チャイルドシートはお持ちですか。
持っている (乳児用 _____ 台、幼児用 _____ 台) / 持っていない
6. 受け入れを行う部屋はどのような部屋ですか。また、広さはどのくらいですか。
客間 / 離れ / 空き部屋 / 家族の部屋 / その他 (_____) 広さ (約 _____ 畳)
7. 期間中、寺院での行事（仏事）のご予定はありますか。（※寺院のみ）
ある (_____ 日・行事名 _____) / ない
8. このたびの受け入れにあたって、受け入れの条件や希望など、特記する点がございましたらお書きください。
.....
.....
.....
.....
9. 緊急連絡先となる方の氏名及び携帯電話番号をお知らせください。
氏名 (_____) 携帯電話 (_____) - (_____) - (_____)

※ホームステイ受け入れの少し前（3月中旬頃）に、「子どもお楽しみツアー」や最終日の「昼食交流会」への参加人数など、詳細についてあらためてお聞きいたします。

返信・連絡先

大阪教務所 Fax 06-6251-4796
メールアドレス osaka@higashihonganji.or.jp

※ お申し込み並びにアンケートへのご協力、ありがとうございました。

原発に依存しない社会の実現を目指す委員会

寄付金ご協力をお願い

2012年3月、教区会及び教区門徒会（臨時会）の議決に基づいて、当委員会では委員会の支援事業・活動に充てる寄付金及び被災地への直接支援に充てる寄付金として、下記のとおりA・B2種類の口座を設置し、寄付金を勧募しております。

お寄せいただいた寄付金につきましては、それぞれの口座の趣旨に沿って、委員会の活動や被災者支援の取り組みに使用させていただいております。

引き続き、皆様の継続したご支援をいただきたく、どうぞよろしくお願いいたします。

記

A

委員会が執り行う支援事業・活動に対する寄付金口座【口座A】

※委員会の事業(福島の子どものための保養事業含む)・活動に使用します。

●郵便振替口座 口座番号：00990—6—149636 名義：真宗大谷派大阪教務所

B

原発被災者への直接支援としての寄付金口座【口座B】

※被災者への飲料水提供など、直接的な被災地支援に使用します。

●郵便振替口座 口座番号：00930—1—128058 名義：真宗大谷派大阪教務所

【注意点】

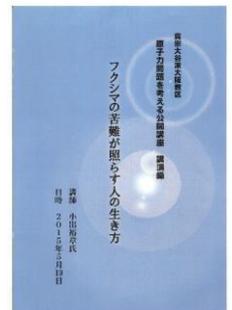
- ① 教務所へ直接お寄せいただいても結構です。
- ② お振込みの場合、振込用紙の控えをもって領収書に代えさせていただきます。なお、振込手数料は、送金額の中でのご負担として支弁させていただきますので、寄付金は差引額となります。
- ③ 宗派（本山）で勧募している「災害救援金募金」については、直接本山の口座へご送金いただくこととなります。ご不明な点は教務所までお問い合わせください。

500円以上の寄付金をいただいた方に、小出裕章氏（京都大学原子炉実験所）の公開講座の講演録を進呈します。

- 2013年9月24日「誰かを犠牲にする原発 「人間」として原子力問題を考える」
- 2015年5月19日「フクシマの苦難が照らす人の生き方」

科学者の立場から原子力の危険性を訴え続ける小出氏からのメッセージが込められています。なぜ原発が危険なのか、わかりやすくまとめられていますので、ぜひご一読ください。

寄付金を振り込んでいただいた上で、必ず冊子希望の旨を大阪教務所までご連絡ください（大阪教務所06-6251-4720）。



【寄付金の現況】(2016年10月20日現在)

《口座A》

収入	2,552,460円	
支出	620,000円	保養事業に使用
残額	1,932,460円	今の残高

《口座B》

収入	1,858,520円	
支出	433,616円	飲料水の支援
残額	1,424,904円	